

2 Where we are in place and time

指導者

日付

指導時間数

セントラルアイデア

10月16日
～12月19日

30時間

「町は時間的・場所的空間で成り立ち、人によって守られている」

<p>領域の指導内容</p>	<p>場所と時間への適応、個人の歴史、家と旅、人類による発見・探検・移住、地球規模そして地域レベルの観点から見た個人と文明の関係性と相互的な関連性。</p>
<p>探究の流れ Lines of Inquiry</p>	<p>①地図表現の探究「機能」 ②自分たちの町「香北」の探究「特徴」 ③地域と自分との関わりの探究「関連」</p>
<p>付加概念</p>	<p>コミュニティ、文化、伝統、継承、時間、社会的文脈</p>
<p>探究を貫く問い 概念理解に向かう思考や姿</p>	<p>香北ってどんな場所？香北には何があるの？ ⇒自然がいっぱい。大きな建物もある。よく遊びに行く場所がある。 町探検をしてどのようなことに気づいた？ ⇒知らないところがあった。きれいな場所がある。また行きたいところがある。 場所的空間ってどういうこと？ ⇒香北にしかないところ。そこにあることに意味がある。そこじゃないといけない。 時間的空間ってどういうこと？どうして、長い時間たっても残っているの？ ⇒長い時間そこにあるということ。人が守ってきた。大切にしてきた。 場所や自然は、本当に人に守られているの？ ⇒掃除したり、整備したり、使ったりしている。大事にしている。それが守るということ。 私たちは香北にどう関わることができるの？ ⇒大事にする。守る。使う。まつりに参加する。そこを使う。一緒に守る人とつながる。</p>
<p>総括課題と評価基準</p>	<p>香北の町は、とても素敵な町です。大切にしたいところがたくさんあります。今、香北町には、長く住んでいる人もいれば、速くから引っ越してきた人もいます。そこで、2年生には、香北のいろいろな人に、香北町のよさを広めてほしいのです。みなさんのゴールは、『香北町のオリジナルマップ』を作り、『香北町のたからものポスター』を使って香北町のよいところを紹介してください。 【ルーブリック】 ★：説明 ○：ポスター S：Aの①と②がりょう方でできている。 A：Bにくわえて、①か②のどちらかができている。 ★その場所のよさやひみつを詳しく説明している。 ○ポスターにオリジナルのアイデアを使って、工夫して描いている。 B：★自分で説明をしている。 ○たからにしたい場所のよいところをポスターに描いている。 C：★先生にサポートしてもらって、説明している。 ○先生にサポートしてもらって、ポスターを描いている。</p>
<p>目指す学習者像</p>	<p>①心を開く人 ・人の話を聞いたり、実際のものを見たりして町探検をし、香北の町のよさを見つけようとする。 ②コミュニケーションができる人 ・町の人に進んで挨拶したり質問したり、ポスターを紹介して香北のよさを伝えようとする。 ③振り返りができる人 ・探検したことを地図やポスターに表現したり、自分の行動を振り返ってこれからどうしたいかを考えたりする。</p>
<p>これまでの学習経験 (知識・技能)</p>	<p>・ポスターを描く ・町に探検に行く ・お礼の手紙を書く ・自分の絵を紹介する ・発表原稿を見ないで、自分の言葉で語る ・あいさつをし、丁寧な言葉でインタビューをする</p>
<p>教科やこれまでのCIとのつながり: Subject Area ・2年 国語「町で見つけたことを話そう」 ・2年 国語「ありがとうをつたえよう」 ・2年 国語「宝物を紹介しよう」 ・3年 社会 東西南北の方角 ・3年 社会 地図記号 ・1年 ユニット Where we are in place and time「公共施設は人々のつながりを強くする」 ・2年 ユニット How we organize ourselves「すべてのシンボルにはメッセージがこめられている」</p>	<p>理解: I understand ※セントラルアイデアに対する理解について記述する。取り上げているキーコンセプトを通してどのような理解を期待するのかを書く。 ①地図表現の探究(機能) 町探検に行き、思ったことや感じたことをもとに、地図表現について学んでいく。方角ごとに特徴を捉えながら、位置を確認し、地図記号や方角について捉え、自分のオリジナルマップにまとめることで、香北の場所的空間について理解する。 ②自分たちの町「香北」の探究(特徴) 香北の地域的行事や伝統、文化財等を通して、地域が大事にできたことが何なのか、どのようなことから大事にしているかを考え、香北の時間的空間について理解する。また、香北の魅力的な場所の特徴を捉え、なぜそこが魅力的なのかを探究し、そこに携わる人がいることも理解する。 ③地域と自分との関わりの探究(関連) 町探検、インタビューを通して、自分が感じたこともふまえながら、なぜ香北には素晴らしい場所が残っているのか、香北の人々にはどのような良さや守るべきものがあるのかを考え、香北の町に人によって守られてきたことを理解する。また、今後自分たちがどのように伝統やこの場所を守っていくか考え、自分たちもその担い手であるということを理解する。</p>

ATLスキル:より深い理解のために必要と考えるスキル

- ①社会性スキル(対人関係, 社会的・感情的知能)
 - ・探検前に質問を考えたり, 町探検中に助け合ったりして, 友達と協力している。
- ②コミュニケーションスキル(情報の交換)
 - ・インタビュー先で質問・挨拶をしたり, ポスターの紹介をしたりしている。
- ③リサーチスキル(情報リテラシー)
 - ・町探検に行き, 香北のよさを見たり聞いたりして見つけている。
 - ・分かったことや気付いたことを地図やポスターに記録したり, インタビューしたことをメモしたりする。

探究の過程:

- ※診断的評価, 形成的評価について具体的に記す。
- ①Tuning In
 - ・セントラルアイデア, 総括課題, ルーブリック, 学習者像, ATL, 探究のラインを確認する。(診断的評価)
 - ・香北町の地図を見て, 「See Think Wonder」をし, 香北の町がどんな町なのかを話し合う。
 - ・町探検に行く。(南コース→北西コース→東コース)※ 出発前に方角をおさえる。
- ②Finding Out
 - ・マップを作るために, 地図記号, 方角について学ぶ。
 - ・方角ごとに拡大白地図に, 写真やイラスト, 地図記号を記入する。
 - ・不思議に思ったことや, 知りたいことを付箋に書き, マップに貼る。
 - ・ワークシートに, 「○の方角は, ~ところだった」とまとめる。(形成的評価)
 - ・「時間的空間」「場所的空間」「人によって守られている」とはどういうことなのか, 児童の言葉でまとめる。(形成的評価)
- ③Sorting Out
 - ・もっと詳しく知りたい場所についてのインタビューしたいことをグループで考える。
 - ・自分のもっと知りたいと思った場所に, もう一度探検に行く。
 - ・再度探検し, インタビューをして学んだことをもとに, マップに加えたり, まとめたりする。(形成的評価)
- ④Going Further
 - ・地域が大事にしていること(伝統や文化財等)を考える。
例: 川上様(おなばれの動画を共有), やなせたかし
 - ・どのようなことから, 大事にされてきたことが分かるかを考える。
 - ・地域と自分たちがどのように関わっているのかを考える。
 - ・自分たちが今後どのようにして伝統を守っていくかを考え, 話し合う。
- ⑤Making Conclusion
 - ・自分がもう一度調べた香北町の場所を宝物として, ポスターと紹介文にまとめていく。
 - ・自分たちと「伝統」や「文化財」がどのように繋がっているかについての内容も踏まえながらまとめる。
 - ・その場所で働く人々の思いや願いも記すように声かけをする。
- ⑥Taking Action
 - ・自分たちの町にはどのような良さや守るべきものがあったか, 感じたことを文章にまとめる。
 - ・ちびっこExhibitionを開いて, 地域の人に自分たちの思いを聞いてもらう。(総括的評価)

※ 保護者には三者面談で発表し, 共に地域を守るものとして思いを共有できるようにする。

個に応じた学び

- ・インタビューの際は, その場で見て聞いて疑問に思ったことを質問できたらする。それが難しい児童は, 事前に用意した質問をする。
- ・ポスターの説明を考える際に, 自分で構成を考えることのできる児童は, リード文のないワークシートを選び, 構成を考えることが難しい児童は, リード文のあるワークシートを用いて考える。
- ・ポスターを描く際, 自分が表現したいものや, 進度に応じて, 自分で画用紙のサイズを選ぶ。

Reflection

※セントラルアイデアの理解に向けて改善する必要がある点について具体的に記す。

①総括課題やルーブリックにおける改善点

○セントラルアイデアについての理解を見取ることができる課題であったかについて、実際の児童の成果物の具体例をあげて評価してください。

②探究のラインや探究のプロセスにおける改善点

○探究のラインがセントラルアイデアへの理解を促進する内容として適切であったかについて評価してください。加えて、具体的に行った学習内容についても改善点をあげてください。

③児童の探究を促した教師の問い

○児童の探究心や思考を促す問いとして効果的であった問いについて評価してください。

④リソースの見直し

○リソース（人的・物的）について、より探究的に学ぶことのできるものであったかについて評価してください。

⑤児童の自発的探究の姿

○探究の過程において見られた児童の自発的探究の姿を記してください。（次の計画に組込むことを検討します。）

⑥概念的理解を深めた場面、学習者像に迫れた場面、ATLを高めることのできた経験

○それぞれについて具体的な場面を取り上げて評価してください。

特定概念

- ・「」・・・
- ・「」・・・
- ・「」・・・

ATLスキル

- ・「スキル（）」・・・
- ・「スキル（）」・・・
- ・「スキル（）」・・・

10の学習者像

- ・「人」・・・
- ・「人」・・・
- ・「人」・・・

⑦児童の振り返り

・